



令和8年 添田町消防出初式

1 月11日、そえだドームで令和8年添田町消防出初式が行われました。今年も長尾副団長の号令に合わせ機敏な動作で服装点検や分列行進を行った団員たち。今回をもって48年間、地域防災の要として活動された梶原茂敏団長が勇退され、新たに長尾登美生団長が就任。訓示では「消防団一丸となり、災害のないまちづくりにまい進する」と決意を示しました。

本年の消防団幹部は次のとおりです。

- ▶団長=長尾 登美生
- ▶副団長=西山 司、櫻木 政信
- ▶団本部分団長=金高 伸吾
- ▶第1分団分団長=杉本 龍馬
- ▶第2分団分団長=尾形 吉則
- ▶第3分団分団長=山本 憲一
- ▶第4分団分団長=手嶋 秀勝
- ▶第5分団分団長=山之内 亮司
- ▶第6分団分団長=陣矢 栄司

た。この一年、町民の皆さまの温かいご支援に支えられ、町政の歩みを確かなものにできました。心から感謝申し上げます。▼次年度から本格化する「健康子育て福祉ゾーン」の整備は、添田町のこれからを左右する大きな柱です。子育て、医療、福祉が一体となることで、暮らしの不安が軽減され、地域全体が支え合い、安心して子どもを育て、年を重ねられる町へと向かっていきます。単なる施設整備ではなく、町の未来そのものを支える拠点として大きな期待を寄せてています。▼その次に、強い意思を持って向き合わなければなりません。▼「駅前は寂しいね」「食事するところも無いの?」BRTひこぼしラインに乗る方、降りた方が第一声で放つ言葉です。▼駅は町の玄関口であり、ここに活気があるかどうかは、町全体の印象を決める大切な要素です。この声は決して見過ごせない、未来への課題として真摯に受け止めています。

▼さらに西側の峰地地区から駅方面へのアクセスは、以前から「遠い」として見過ごせない、未来への課題として真摯に受け止めています。

近づき、今年度も残り二か月となりました。町としてこの課題にどう向き合い、どう改善していくか、その検討を重ねながら将来を見据えた動きを進めるべきだと思っています。▼道路がつながりやすくなれば、人の流れも変わり、駅前の活気につながり、BRTひこぼしラインの利用促進にもつながり、駅前にぎわいが戻れば、それは町全体の元気の象徴となります。▼小さな変化が、やがて大きな未来を生む、その可能性が確かに見え始めています。▼添田町が目指すのは明確です。「来てみたい町」です。この思いを町民の皆さまとともに一つずつ形にしていきます。▼まちづくりは時間のかかる営みです。しかし、町を住んでみたい人がいてみたい。歩いてみたい。そして、田町が目指すのは明確です。「来てみたい町」です。この思いを町民の皆さまとともに一つずつ形にしていきます。▼まちづくりは時間のかかる営みです。しかし、確かに方向を見据え、歩を止めず進み続けることで、未来は必ず動き始めます。添田町は、ただ変化を待つ町ではありません。自ら未来を切り拓く町です。▼年度末で慌ただしい時期とは存じますが、どうぞお体には十分お気をつけください。これから添田町は、確実に、そして力強く前へ進んでいきます。どうかその一歩一歩に、引き続き皆様方のご支援、お力添えをお願いいたします。



春の足音が

近づき、今年度も残り二か月となりました。町としてこの課題にどう向き合い、どう改善していきます。▼道路がつながりやすくなれば、人の流れも変わり、駅前の活気につながり、BRTひこぼしラインの利用促進にもつながり、駅前にぎわいが戻れば、それは町全体の元気の象徴となります。▼小さな変化が、やがて大きな未来を生む、その可能性が確かに見え始めています。▼添田町が目指すのは明確です。「来てみたい町」です。この思いを町民の皆さまとともに一つずつ形にしていきます。▼まちづくりは時間のかかる営みです。しかし、確かに方向を見据え、歩を止めず進み続けることで、未来は必ず動き始めます。添田町は、ただ変化を待つ町ではありません。自ら未来を切り拓く町です。▼年度末で慌ただしい時期とは存じますが、どうぞお体には十分お気をつけください。これから添田町は、確実に、そして力強く前へ進んでいきます。どうかその一歩一歩に、引き続き皆様方のご支援、お力添えをお願いいたします。